WEEKLY REPORT 第991回 平成23年9月29日号

佐世保中央ロータリークラブ週報

第2740地区 佐世保中央ロータリークラブ 創立: 1990年9月29日 認証: 1990年10月22日

■事務局住所:〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp
会 長:田代 博之／副会長:富永 博美／幹 事:八重野 一洋

2011~2012 年度クラブスローガン

念ずれば花ひらく
楽しもうロータリー

国際ロータリー 2011~2012 年度テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

本日の出席率７７．２７%: 会員数４４名・出席３２名・欠席１０名・出席規定免除会員（２） ２名・ビジター０名
前々回の修正出席率１００%: 出席４０名・メークアップ２名・出席規定免除会員（２） １名

会長挨拶・田代 博之君



皆さんこんにちは。いよいよ来週は創立記念例会、その次の週はガバナー補佐訪問例会、その次の週はガバナー公式訪問と公式事業が立て込んできております。何とか乗り切っていきたいと思っています。

先週親睦委員会で、１０００回例会の打ち合わせをしました。ブレインストーミング方式でいろんな意見を出し合いましたが、今からまとめていかなければなりません。１０００回例会は、今年２１周年ですので２１年に１回の例会ということです。佐世保クラブから３０００回の記念例会の招待を受けています。あの歴史と伝統の佐世保クラブが３０００回です。１０００回単位でいうと３回目ということです。次の２０００回は私も含めて居られない方も居られるかもしれません。是非とも思い出に残る例会にしたいと思っています。親睦委員会、ＳＡＡのみなさんよろしくお願いします。私も最大限の協力をしていきたいと思います。

鍛錬という漢字がありますが、宮本武蔵は「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を連とす」と言っております。今年その千日、千回目の例会が来ます。非常にたよりない会長で、皆様方に迷惑ばかりかけています。ロータリーの友情に免じて頂き、１０００回例会を心に残る例会にしたいと思っています。そして万回例会の第１歩としたいと思います。

私は、今普段の日は毎日３時に起きて水を浴びながら中村天風の誦句を唱えています。休みの日とか、出張の時は遅くなる時があります。今日も水垢離をしてきましたが、２０２９日になります。１０００日の願をかけてやっておりました、いつのまにか２０００日を超えました。２月の一番寒いときに、８度６分の熱をだし、水垢離をしたときだけは家内からやかましく言われました。今では良き思い出として残っています。千日の満願を達成して、これから無理はしないと思っていましたが、今まで続いています。

成功の法則その１３
千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす　　宮本武蔵

「１０年偉大なり ２０年畏るべし ３０年で歴史になる」イエローハットの創業者の鍵山秀三郎氏の言葉ですが、続けることの大切さをこのごろよく考えます。

Report 幹事報告・八重野 一洋君

１．例会変更
・ハウステンボス佐世保ロータリークラブ
１０月１１日（火） １７：４５～
インターネットカフェ コンサート鑑賞例会のため

２．来　　信
・ガバナー事務所
①ＲＹＬＡにおけるクラブ負担金について
３０，０００円／クラブ→８００円／会員１人
２０１２年第３３回ＲＹＬＡより適用
②東日本大震災日本委員会より現況報告
③「ロータリーの友」原稿募集のお知らせ

３．伝達・通知
・本日、例会終了後理事会、１８時３０分よりＩＭ実行委員会・部会長会議を開催します。

committee 委員会報告

親睦活動委員長　前田 眞澄君
来週、10月6日は創立記念例会となります。送迎バスを準備していますので、再度確認をお願いします。わからないことがありましたら、池永隆司君が担当ですので問い合わせてください。

週報制作：出席・会報委員会／芥川 浩一郎、西村 浩輝、四元 清安、浅野 訓一、後田 明子、馬場 貴博

本日は社会奉仕委員会担当のクラブフォーラムです。よろしくお願いいたします。

指山 康二君

今日、牛島君のシネマボックス太陽京町第7ビルの地鎮祭をとりおこないました。7番目のビルとはすごいですね。私の会社の前のビルですので、息子が設計させていただきました。ありがとうございます。牛島絵里沙と指山立の若いコンビです。中央RCの仲間で施工いたします。皆さん、テナント募集中です。よろしくお願いします！

牛島 義亮君

今日、無事地鎮祭が終わりました。施工は指山建築ファクトリー、建築業者は瀬戸君、基礎調査は馬場君、そしてサッシは田代会長はご存じでありませんでしたが田代硝子です。地産地消で（中央RC）でお願いしています。完成したら指山さんの出来映えを見てやってください。

本日の合計	5,000 円
本年度の累計	174,000 円

本日の卓話

■ 第1回クラブフォーラム ■



田端 茂社会奉仕委員長

先日、地区社会奉仕セミナーに出席してまいりました。

野崎パストガバナーの卓話では、シカゴロータリークラブ草創期においては親睦や会員互助が中心で、奉仕の項目が入ったのは1922年頃からというお話を伺った後、各クラブの活動報告、活動計画と東日本大震災についての報告がありました。

大震災については、地元の住民しか知らないようなことかもしれませんが、過去において島原の普賢岳火砕流の時にも問題になった件があります。それは、指定をする線引きの問題、つまり被災の指定を受ければ義捐金などを受ける事が出来ますが、道路一つ隔てて義捐金もらえる人と、道路一つ４メートルの差で何の支援も受けられない人があり、地区内がギクシャクしたそうです。

同じ農業を行っていて、こんな差が発生しますので、私見としては、当該地区を広く捉えて、物産品の購入支援を行ったらどうかと思っています。一クラブでは限界がありますから 2740 地区事務局が当該地区の事務局と連絡を取り合って、会員に購入を促すとかできないものでしょうか。そうすれば被災指定外の農業などの従事者の支援にもなるのではないでしょうか？と、報告提案する予定でしたが、なんと私は事前連絡が正確に伝わっておらず、受付では欠席扱いとなっていました！

さて、今年の委員会活動の途中経過を報告します。まず、市の教育委員会において、市役所で取り扱っている奨学金の説明を受けました。

1、高校無料化で申し込みは減少している
2、貸与金の回収遅れで資金不足でピンチ
3、毎月出せるような資金がないなら、入学祝い金という方法もある・・等々

社会奉仕活動の見直し「継続事業」の考え方
基本は、我々ロータリアンは、少なからず佐世保市民に、お世話になって生業を行っています。ロータリークラブの奉仕活動はエリート養成の活動が多いように思います。

ライラは未来のリーダー養成。交換留学生・米山にしても高校生大学生対象です。いわば高校生活・大学生活を送ることが出来る人の支援活動です。高校生活を送るのにチョット厳しい、例えば、ある母子家庭では、子供がクラブに入会すると、何かとお金がかかるので、入れないという実態もあります。ロータリー財団や米山を否定しているのでは無いのです。先ほど言いました佐世保市民のお陰で会社の生業。そしてロータリークラブに時間とお金を使えるようになってる訳ですから、佐世保市民の目に見える様な、モット地元の色んな意味でハンディキャップのある人達の為の奉仕活動を目指したいと思っています。

それでは、坂井ガバナー補佐から、東日本大震災に対するロータリーの情報等、お話を伺いたいと思います。



坂井智照ガバナー補佐

３月 11 日の東日本大震災を受けて、各地区のロータリーから多くの寄付が集まりました。なかでも、2610 地区（富山、石川）のガバナーは、１億円という目標を早々と掲げられ、ロータリアン１人当たり４万円になる支援金を実際に集められました。この支援金の内 7,000 万円は、富山、石川県に避難しておられた被災者の方々へ直接手渡され、残りの 3,000 万円は、2520 地区（宮城、岩手）ガバナーへ手渡されたそうです。

さて、今回、当クラブの社会奉仕委員会田端委員長より、奨学資金の新設について説明がありましたが、学資が自由にならない高校・大学等への進学予定者に、入学一時金を検討したいとの試みは、大変結構なことではないかと思っています。

震災対応や、このような社会奉仕活動についても、ロータリーとしての真価が問われていると思います。

ＳＡＡ：福田 英彦君／音響：川島 千鶴君
次回例会／１０月６日１８：３０～
創立記念例会　於：弓張の丘ホテル